



□ 川越駅西口広場

JR川越駅に接した駅西口は、埼京線の乗り入れによって年々乗降客が増えている。昭和52年に区画整理事業にともなう整備された広場は、市内で唯一噴水がある駅前として親しまれている。楠（くすのぎ）や榎などの樹木もボリュームを持つようになり、駅前通りのこぶしが春を感じさせる。うす暗かった広場下の地下道も、市内の小中学生の手による6枚の壁画で飾られるようになった。今後産業文化センターの計画を抱えるこの地域は、川越の新たなシンボルゾーンとして、整備が期待されている。

